

令和2年2月12日

摂津市立味舌小学校  
校長 前馬 晋策 様

味舌小学校学校協議会  
会長 榎谷 佳純

## 今後の味舌小学校の運営についての提言

今年度実施された「学校評価アンケート」の結果概要・分析結果、それをもとにした自己評価を踏まえ、味舌小学校の今後の学校運営についての提言を以下のとおりまとめましたのでお伝えします。

### 記

味舌小学校学校協議会では、常に学校の「今の姿」を明らかにされ、学校の様々な課題を学校だけで解決するのではなく、広く意見を集めた上で解決しようとされてきました。保護者や児童、教職員を対象とした学校評価アンケートをはじめ、修学旅行アンケートや平和登校日アンケートを行い、その結果や学校の見解を広く発信されました。また、学校協議会の委員を今年度は10名に増やし、それぞれの委員の様々な立場からの意見を、より多く集めようとされ、学校協議会の会議録をホームページ上で毎回公表されてきました。さらには、今年度も教科や集団づくりについて研究してこられたことを研究発表会の開催という形で広く発信されました。

「安全で安心できる学校」「確かな学力を育む学校」「誰からも愛される学校」をめざしておられる味舌小学校ですが、それらの実現のためには情報発信と発信に対する返信をしっかりと受け止めた上で、さらに学校組織をしっかりとしたものになければなりません。発信だけではなく、受信にも努めようとしておられる今の学校の姿勢を今後も持ち続けて欲しいと願っています。

味舌小学校の教職員が一つになって、児童にとって大好きな学校で明日の社会の創造に参画できる力を育てていただくために、一年間皆様の取組みに接し、ともに歩ませていただいた私達から、めざす学校像にそって提言します。

#### 1. 安全で安心できる学校づくりについて

学校の安全は何よりも大切です。しかし、自然災害を含め、様々な危険や危機に学校・児童がさらされているのも事実です。そのような中、よりリアリティを追求した避難訓練を実施し、関係機関や地域と連携して、交通安全や防災・防犯や交通安全に係る取組みを行ってこられました。そのため、学校評価アンケート（以下、アンケートと記す）において、防災等に関する評価が保護者からも児童からも高く、安全教育の面からの安全で安心できる学校づくりは、着実に実現に向かっていると言えるのではないのでしょうか。

しかし、児童にとって学校が本当に自分たちの居場所として安心できる場所となっているかどうかについては、よく現状を見つめる必要があるのではないのでしょうか。「相談のしやすさ」「質問のしやすさ」について、アンケートでは多くの高学年児童が否定的な回答をしている現

状があります。

また、「学校が楽しいか？」という質問に対し、32.3%の高学年児童が否定的回答をしており、保護者の否定的回答を約14%上回っています。このことは、「家庭でも思いを理解してもらえない」、または「話をする機会が少ない」ことを示しているとも考えられ、児童と教職員との関係の再構築が必要であると考えます。教職員対象のアンケートの中で「教員は子どもの意見をよく聞いている」という質問がありましたが、6.7%の否定的回答がありました。自信を持って全ての教職員が肯定的な回答をできる状況こそが、児童にとって安心できる環境づくりにつながるのではないのでしょうか。

教職員の組織における人間関係が良くなっていることは、大変喜ばしいことだと感じています。経験の浅い教員の力量向上をめざす体制や教職員間で気軽に相談できる人間関係の弱さについての課題が、昨年度のアンケート結果から浮かび上がりましたが、今年度のアンケートにおいては大幅に肯定的な回答が増加しています。教職員の同僚性が発揮されてこそ、校長のリーダーシップも生きてきます。今後さらに組織が一枚岩となるように、継続して取り組んでいただきますよう要望します。

また、教職員の働き方改革については、今年度より様々な取組みを行っておられますが、校長、教頭を含め、教職員全体の時間外勤務時間は減少したとは言えません。この問題に関しての保護者の関心も徐々に高まっていると感じます。社会全体で考えるべき課題であるとも言え、学校協議会で報告いただいたような現状や課題についての発信を今後も続けていただきたいと考えます。

ただし、働き方改革と教職員のアンケート回収率の低さは別問題です。保護者や児童以上にこのアンケートの意義を的確にとらえ、アンケートの改善に臨まなければ学校に対する信頼の向上は望めないのではないのでしょうか。校長のリーダーシップの発揮をこの点においてもよろしくをお願いします。

## 2. 確かな学力を育む学校づくりについて

今年度も研究発表会を開催されました。国や市の学力調査において、明らかになった課題から、年間を通して授業改善や学習習慣づくりに学校全体で取り組んでおられることは、素晴らしいことであり、今後も児童のために取組みを継続されることを強く望みます。

学校協議会においても報告がありましたが、全国学力・学習状況調査においては、国語・算数ともに正答率は府の平均正答率とほぼ同じであり、算数は府の平均正答率が全国のものと同様であることから本校の平均正答率も全国平均並みと言えることができます。したがって、国語を重点教科として授業改善の取組みを進めておられることは、十分理解できます。

また、学習事項の定着のために自ら学習する習慣づくりをめざす「チャレンジスタディ」の取組みも、校内の掲示物から多くの児童が楽しんで取り組んでいることがうかがえ、今後の成果を期待しています。

気になることは、以前からも取り組んでおられる「ユニバーサルデザイン」(以下、UD)についてです。UDは教育現場には必要な考え方であることは十分理解しています。課題を誰もがわかりやすいようにすることやそのための教育環境づくりは必ず行わなければなりません。しかし、UDを取り入れたことで、全ての児童に配慮したととらえることは危険です。一人ひとりの状況、つまり個別の状況や課題を的確に把握し、個に応じた指導を行ってこそ、誰もができる、わかる授業が実現するのではないのでしょうか。もちろん、学校の教職員の皆さんはこの点につ

いて十分理解しておられるとは思いますが、教職員が人権教育の弱さを感じておられたり、いじめに対応する取組みへの児童の肯定的回答の率が下がっていたりすることから、あえてその点をお伝えしたいと思います。

宿題については、その量についてなど、様々な意見があります。大切なことは、学んだ事項の定着と学習習慣の確立及び定着です。児童の学びは学校だけでなく、家庭や地域も学びの場です。宿題をテーマに、様々な機会に保護者と意見交換をする場を設けてはいかがでしょうか。

いよいよ4月から、小学校において次の学習指導要領が完全実施されます。外国語、プログラミング教育をはじめとする新しい課題にも対応しなければなりません。今年度、校内での教員研修の回数が増え、準備に努めている旨、伺っていますが、環境、国際理解、福祉ボランティアなど、現代的課題に関わる教育活動についても積極的に取り組んでいただくことを要望します。また、SDGs（持続可能な開発目標）の観点をどのように教育実践に埋め込んでいくかは、未来を生きる子どもたちのためにも重要な課題です。現代的課題に関わる教育活動が弱みとして挙げられている今回のアンケート結果からも、広い視野を持って学校全体で系統的な取組みをお願いします。

### 3. 誰からも愛される学校づくりについて

本校が情報発信に努めておられることは理解します。学校ホームページの更新頻度は高いですし、学校協議会やPTAの会議、その他、学校から出される文書においても、様々な内容を発信しておられます。その努力には敬意を表します。

しかし、保護者からのアンケート回答では、学校からの文書や連絡、教育情報の提供に対する肯定的回答率は昨年度と比べて低下しています。また、生徒指導をはじめ学校の方針も十分に理解されているとは言えません。

発信の回数や量は増加していても、受信する側のニーズと合致していないのではないのでしょうか。発信に必要なこととして、誰にとってもわかりやすいことは言うまでもありません。改めて学校は、発信の内容や方法、そしてタイミングについて、これまでの取組みを検証し、より良い発信方法や内容について、検討されることを要望します。

保護者の回答で、校長のリーダーシップについて高く評価されるということは、児童が家庭で学校の話をする機会が多くあるからではないかと思います。一方で、校長の朝会などでの話を含め、児童が家庭に持ち帰る話は数多くあり過ぎて上手く伝わらず、結局学校の取組み内容についてはよくわからないという保護者の数が多くなっているように感じます。

人権教育やICT（通信情報技術）教育に関わる取組みについて、参観、懇談、学校だよりを通じて、保護者に知っていただくことの必要性があるのではないのでしょうか。それが教育情報の発信であり、児童の話と一体となって、学校へ来られる機会が少ない保護者にとっても学校の様子がよくわかることにつながるのではないかと思います。

校長は、味舌小学校の特色であり、強みは、学校と地域、保護者のつながりの強さ、深さであると常々仰っています。それは、学校協議会としても大変うれしいことです。地域やPTAとの協働で実施されている様々な行事、教育活動は、児童からも好評です。学校を核とする味舌小学校区の教育活動の充実を学校協議会としても、さらに応援したいと考えています。どうか校長はじめ教職員の皆さん、今後も「熱く」「厚く」「篤く」、児童のために教育活動に励んでいただくようお願いいたします。